

2014年度決算について

2014(平成26)年度決算は、学園監事による監査を受けた後、5月26日開催の理事会において承認されましたので、その概要についてお知らせします。

2014年度決算の概要

はじめに
経済状況の悪化や少子化による18歳人口の減少等により、学校法人の経営は一層厳しさを増えています。そうした状況下においても本学園の社会的使命である教育研究活動を発展させていくため、授業料収入などの有限の財源のほかに補助金や受託研究等外部からの資金導入を積極的に図り効率的・効果的に教育研究活動を展開してきました。今後も努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【計算書の解説】
資金収支計算書は、当該会計年度における法人全体の教育研究活動等諸活動に対する資金の収支を明らかにするものです。消費収支計算書は、当該年度の学生納付金等の「帰属収入」から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と「人件費・教育研究経費等の「消費支出」との均衡状態、内容により経営状況を把握するものです。消費収支計算書は、資金収支計算書の収入の部から学校法人の帰属収入とならない借入金等収入および資金の動きだけを示す前受金、その他の収入等は除かれます。また、支出の部から借入金等返済支出、施設関係支出、設備関係支出等が除かれます。一方、帰属収入として寄付金収入に現物寄付金が計上され、消費支出として退職給与引当金繰入額および減価償却額が計上されます。

【貸借対照表】
貸借対照表は、学校法人の会計年度末の財政状態をあらわした計算書で、負債、基本金および消費収支差額の状況を前年度末の額と比較して示します。財務状況や経営分析に使用する重要なものです。

【資金収支計算書】

収入に関しては、学生生徒等納付金収入が予算比281万円増、手数料収入が予算比1,895万円増、寄付金収入が予算比2,960万円増、補助金収入が予算比1,422万円減、資産運用収入が予算比2,324万円増、資産売却収入が予算比775万円増、雑収入が予算比953万円減となりました。事業収入は予算比4,021万円減となりました。収入の計は予算比3億6,102万円減の100億6,650万円です。

また、支出に関しては、人件費支出が予算比1億1,916万円減、教育研究経費支出が予算比5,752万円減、管理経費支出が予算比481万円減となりました。施設設備関係支出については、耐震補強工事や講義棟等の施設、設備改修工事を行いました。支出の計は予算比5億5,378万円減の95億598万円となり、次年度繰越支払資金は予算比1億9,275万円増の70億7,770万円となりました。

【消費収支計算書】

帰属収入は予算比1億4,371万円減の91億8,797万円となり、基本金組入額は予算比5億4,462万円減の3億3,280万円となりました。その結果、消費収入は予算比4億91万円増

の88億5,517万円となりました。また、消費支出は予算比1億6,997万円減の89億9,412万円となり、消費収支差額(=消費収入-消費支出)は1億3,895万円の支出超過、翌年度繰越消費支出超過額は12億5,912万円となりました。一方、帰属収支差額(=帰属収入-消費支出)は対予算比2,626万円増の1億9,385万円となりました。

【貸借対照表】
総資産350億8,246万のうち、固定資産は272億4,991万円、流動資産は78億3,254万円となりました。流動資産のうち現金預金は70億7,770万円です。総負債50億6,161万のうち、固定負債は27億4,363万円、流動負債は23億1,798万円となりました。なお、長期借入金のうち、短期借入金1億円、未払金等が増えたため負債総額が前年対比17億5,369万円増加しました。これらの結果、総資産から総負債を差し引いた正味資産は300億2,085万円となり、前年対比1億2,395万円増加しました。

また、減価償却の累計額は、238億4,107万円であり、基本金の当期組入額は3億3,280万円で組入合計額は426億1,211万円となりました。

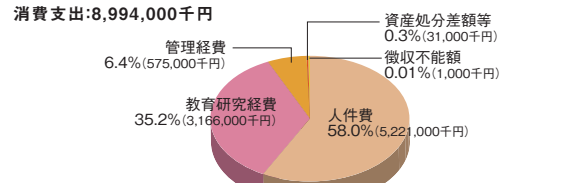
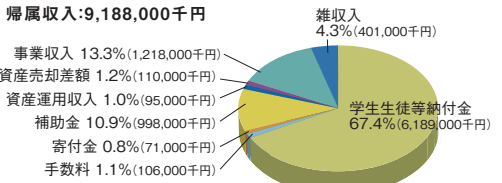
資金収支計算書

Table with financial data for '資金収支計算書' showing budget vs actual for various income and expense categories.

消費収支計算書

Table with financial data for '消費収支計算書' showing budget vs actual for consumption-related income and expense categories.

2014年度消費収支の構成比率



貸借対照表

Table showing the balance sheet (貸借対照表) with assets, liabilities, and equity details for 2014.

財務情報の公開と閲覧
私立学校法が改正され、2005年4月から財務情報の公開が義務化されました。これに伴い在学生及び学費支弁者、卒業生、教職員、入学予定者等に対し、2011年度「財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書、事業報告書、監事による監査報告書」を閲覧に供しますので、当別キャンパスは経営企画部財務課、札幌おのりキャンパスは学務部心理科学課に申し出願します。また、大学ホームページにも財務情報を公開しております。

主な事業の実績

- List of main achievements including: 1. University-level rehabilitation course, 2. Inpatient care (NPS) expansion, 3. NP courses, 4. Psychology department expansion, 5. Rehabilitation department expansion, 6. Expansion of nursing department, 7. Local medical university cooperation, 8. National exam preparation, 9. Education system improvement, 10. Career support, 11. Education and research promotion.

